

2023年7月19日(水)発行  
第223号

藤北通信 

群馬県立藤岡北高等学校  
藤岡市篠塚90 TEL22-2308  
編集発行人 藤岡北高広報係  
<https://fujikita-hs.gsn.ed.jp/>

# ガーデニング部関東大会へ！

## 群馬県学校農業クラブ連盟各種発表大会

7月7日(金)、本校生徒クラブ会長の鈴木来夢君(藤岡東中卒)が会長を務める群馬県学校農業クラブ連盟の、令和5年度各種発表大会が、伊勢崎市の伊勢崎市境総合文化センターを会場に開催されました。

各種発表大会はプロジェクト発表会と意見発表

会の2部に分かれており、それぞれが「生産・流通・経営」を扱う分野Ⅰ類、「開発・保全・創造」を扱う分野Ⅱ類、「ヒューマンサービス」に関わる分野Ⅲ類の3つの分野に分かれています。

本校からの出場者と発表題目は、下の表の通りです。

### 《意見発表》

分野	発表題目	学年	発表者氏名
Ⅰ類	第三者の目～これからの造園への提案～	2	立石 詩穂(新町中卒)
Ⅱ類	小川の未来を考える～マイクロプラスチック削減～	3	榎本 朝日(藤岡東中卒)
Ⅲ類	黒豆で藤岡市を元気に！～私の好きな食品から見えてきたもの～	2	山浦 奈菜聖(鬼石中卒)

### 《プロジェクト発表》

分野	発表題目	学科・コース	発表代表者氏名
Ⅰ類	「藤北ベーカリー地域活性化プロジェクト～藤岡市PRメニューの更なる改良と販売への挑戦～」	生物生産科 フードビジネス	佐藤 優成(藤岡西中卒) 他5名
Ⅱ類	明日の公園をDESIGNする	環境土木科 ガーデニング	塚本 叶夢(玉村中卒) 他8名
Ⅲ類	小川の未来を考える	環境土木科 環境工学	町田 昇胡(藤岡東中卒) 他6名

審査の結果、意見発表での入賞はかないませんでしたが、プロジェクト発表分野Ⅱ類でガーデニング部が最優秀、分野Ⅲ類で環境工学部が優秀の成績を収めました。おめでとうございます。

この結果を受けて、ガーデニング部は分野Ⅱ類での群馬県代表として、8月24日(木)・25日(金)に東京都で開催される関東学校農業クラブ連盟の各種発表大会に出場します。

全国大会を目指し、関東大会でも頑張ってください。

## 農業情報処理競技会

7月11日(火)に県学校農業クラブの農業情報処理競技会が、伊勢崎興陽高校を会場に開催されました。

本校からは3年生4名が参加し、新井桜海さん(花園中卒)と清水藍花さん(藤岡東中卒)の2人が優秀の成績を収めました。

おめでとうございます。

今年度の藤岡北高校学校評価の羅針盤・方策が決まりましたので、公開いたします。

群馬県立藤岡北高等学校

学校評価一覧表

羅 針 盤			方 策	
評価対象	評価項目	具体的数値項目		
I 特色ある学校づくりに努めていますか。	1 特色ある教育活動を行っていますか。	地域交流や地域貢献を目的とした活動や行事等に参加した生徒の80%以上が満足している。	生徒が主体的に参加ができるよう指導するとともに、専門学習の充実に関わりける指導を行う。	
	II 生徒の意欲的な学習活動について適切な指導をしていますか。	2 生徒の実態に応じた指導を行っていますか。	① 授業がわかりやすいと75%以上の生徒が答えている。 ② 資格取得にむけた指導に生徒の70%以上が満足している。	指導と評価の一体化につなげられるよう目標と振り返りを明確化し、ICT活用を中心とした適切なツールを取り入れた指導方法や教材の工夫等、授業改善に努める。 専門的学習における資格取得の位置づけを理解し、進路実現にむけた重要性をふまえて取り組めるよう、指導体制を構築し、家庭と連携した指導に取り組む。
		3 生徒は確かな学力を身に付けていますか。	授業を中心とした学習に対して意欲的に取り組んでいると自己評価している生徒が、70%以上である。	振り返りから自己課題を確認できるよう、目標や評価についての解説に重点をおき、主体的に学習に取り組めるよう、指導体制の充実を図る。
III 生徒の充実した学校生活について適切な指導をしていますか。	4 組織的・継続的な指導を行っていますか。	① 職員会議や学年会議において、生徒に関する情報交換を月に複数回実施している。 ② 学校生活全般における身だしなみの改善・挨拶指導が十分に行われていると評価する生徒が70%以上である。	職員会議・学年会議等の議題として情報交換を実施し、全教職員間で情報を共有し、組織的な指導を行う。 職員間で連携をとり、HR・授業中における指導を充実させる。登校時指導や授業、HR等で身だしなみ・挨拶指導を継続的に行う。	
	5 学校はいじめの防止や早期発見に向けた取組を積極的に行っていますか。	いじめの未然防止に努め、早期発見・早期対応に努めていると評価する生徒が80%以上である。	生徒及び保護者はいじめ防止対策について情報発信する。生徒観察に努め、未然防止・早期の組織的対応を徹底する。いじめ認知内容についてはすみやかに職員間で共有する。	
	6 生徒は健康で、規則正しい学校生活を送っていますか。	① 遅刻率が0.8%以下である。 ② 欠席率が1.5%以下である。	HRや授業の開始時間を守るよう指導し、時間を守ることの大切さを伝え続ける。保護者と連絡を取り合い、連携して指導する。 本人・保護者との連絡を密にし、必要に応じて面談や家庭訪問を実施する。また、進路を踏まえ欠席数を増やさないことの重要性を理解させる。長期欠席者に対しては、双-幼かてら-等とも連携し生徒理解と原因把握に努める。	
IV 生徒の主体的な進路選択について適切な指導をしていますか。	7 計画的な指導を行っていますか。	学校から提供される進路情報や進路関係行事等が進路を考える上で役に立っていると評価する生徒が80%以上である。 ① 自己の生き方と将来の職業について考えている生徒が75%以上である。	ポートフォリオ・手帳等を使って進路行事の事前・事後指導を行い、進路学習の充実を図る。また、進路相談会やオープンキャンパスなどの情報提供を充実させ、生徒の参加を促進する。 ① 学習活動・特別活動・学校行事等を通して、全教職員間で生徒に自己の生き方と将来の職業について考えさせる指導を行う。	
	8 生徒は自らの進路について真剣に考え、その実現に向けて取り組んでいますか。	② 目標とした進路を実現できた生徒（3年生）が90%以上である。	② 3年生の進路に関する情報を全教職員間で共有し、学校全体で3年生に対する個別的なキャリアカウンセリングを進める。	
V 開かれた学校づくりに努めていますか。	9 家庭、地域社会に積極的に情報発信をしていますか。	「学校の様子がよくわかる」と評価する保護者が75%以上である。	WEBページや連絡メール、クラスルーム等を活用し、学校の様子をわかりやすく保護者及び地域に発信できるように工夫や充実を図る。	
VI 教育デジタル化に努めていますか。	10 ICTを活用した指導を行っていますか。	ICTを活用した授業およびHR活動に生徒の70%以上が満足している。	ICT機器及びソフトウェアを効果的に利活用し、デジタルコンテンツを使った成果を実感できるような教育活動の工夫や充実を図る。	
	11 ICTを活用した業務改善を行っていますか。	職員連絡および会議資料等のデジタル化を80%以上実施する。	学習および校務支援システム、Googleネットワークサービス等を適切に活用し、最新の情報を確認できる体制を整え、業務の効率化を図る。	